

第4節 平均在院日数の状況

1 平均在院日数の定義

平均在院日数は、医療機関に入院した患者の1回当たりの平均的な入院日数を示すものであり、病院報告において次の算式により算出することとされています。

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{年間在院患者延数}}{1/2 \times (\text{年間新入院患者数} + \text{年間退院患者数})}$$

ただし、療養病床については、次式による。

$$1/2 \times \left(\frac{\text{年間在院患者延数}}{\text{年間新入院患者数} + \text{年間同一医療機関内の他の病床から移された患者数} + \text{年間退院患者数} + \text{年間同一医療機関内の他の病床へ移された患者数}} \right)$$

2 病床の種類別平均在院日数の状況

図表 2 - 13

群馬県の状況				全国の状況			
(単位：日)				(単位：日)			
	H18年	H17年	増減数		H18年	H17年	増減数
総数	32.9	33.7	0.8	総数	34.7	35.7	1.0
精神病床	348.3	351.5	3.2	精神病床	320.3	327.2	6.9
感染症病床	28.7	22.4	6.3	感染症病床	9.2	9.8	0.6
結核病床	91.9	115.0	23.1	結核病床	70.5	71.9	1.4
療養病床	114.8	115.5	0.7	療養病床	171.4	172.8	1.4
一般病床	19.1	19.5	0.4	一般病床	19.2	19.8	0.6
介護療養病床	228.6	介護療養病床	268.6

資料：厚生労働省大臣官房統計情報部「病院報告」(平成18年)

3 平均在院日数と医療費の相関関係

都道府県ごとの平均在院日数と1人当たり老人医療費(入院)の関係については、高い相関関係が指摘されています。

4 課題としての平均在院日数

老人医療費の高低には、各都道府県ごとにばらつきがあり、その大きな要因が「平均在院日数」の長短に関係しています。

したがって、医療費適正化計画において、「平均在院日数の短縮」を政策目標の1つとして掲げ、積極的に取り組むこととしています。